

ワンポイントガイド



● 塩船観音寺(つつじと歴史の名刹)

西暦650年頃の創設と言われる真言宗のお寺です。

境内には、国の重要文化財に指定されている数々の文化財があり見学できます。つつじの時期には約2万本の白、赤、ピンクのつつじが咲き誇り、つつじまつりも開催されます。なお、背後にそびえ立つ、『塩船観音平和立像』は高さ約15mです。



● 吹上しょうぶ公園

2.1haの広さに約250品種のしょうぶが植えられています。

開花は5月頃になります。秋は彼岸花、フジバカラマが咲く一帯は、谷戸と呼ばれ豊かな自然が残されています。勝沼城を含めて『勝沼城跡歴史環境保全地域』に指定されています。

毎年、5月終わりから6月中旬にかけて『吹上しょうぶまつり』が行われ、地元物産品の販売等があります。



● 勝沼城(師岡城)跡

築城年代、築城者は不明。

平将門の末裔と称し多摩川上流域を領していた、三田氏の居城であったと言われていますが、永禄6年(1563)北条氏照に滅ぼされました。その後、師岡山城守将影(もうおかやましろのかみまさかげ)が入ったので師岡城とも呼ばれています。しかし、秀吉の小田原攻めにより廃城となったと言われています。昭和50年に東京都の歴史環境保全地域に指定され、平成5年には東京都の史跡に指定されました。城跡内には土壘や空堀などが残されています。

※杉並区のNPOすぎなみ環境ネットワークさんが、森林保全活動(下草狩り、里山の貴重植物の保護等)をしています！！



● 住吉神社と雪守横丁

住吉神社は、1369年に大阪の住吉大社から分霊し鎮座してから650年以上になります。

この神社には、昨今ブームの猫さんが、鎮座しています。左から『阿於芽猫祖神』(あおめびようそじん)阿於芽には『青梅』と『青目』がかけられています。右手で金運を招き、左手でマタタビの葉を持っています。右上は『恵比寿猫』、右下は『大黒天猫』です。

そして、雪守横丁へ入ると猫のイラストがたくさん。青梅では、猫は鼠を退治するので大切にされました。



ワンポイントガイド



◆釜の淵公園・旧宮崎家住宅

激しい水流が淵の底の岩盤を深くえぐり『丸い釜』のようになっていることから釜の淵と呼ばれています。多摩川と一緒になった縁深い公園です。一年を通して美しい所ですが桜の時期は特に公園が、ピンク色に染まるような風景です。
旧宮崎家住宅は、北小曾木(きたおぞぎ)村の山村にあった住宅を移築しました。農家ですが石灰石採掘もしていました。



△金剛寺・真言宗豊山派のお寺

承平年間(931—938年)平将門の開基です。『將門誓いの梅』の古木があり現在は2代目にあたると言われています。平将門が当地に来た時、馬の鞭についていた梅の木を地に刺し誓いを立てた『我が望み叶うなら根づくべし、その時には一寺建立奉るべし』すると根付き誓いどおりに寺を創建したと言われている。そして梅の実がなったが、なぜか成熟せず青いままだったことから『將門誓いの梅』と呼ばれ、青い梅の実の逸話から『青梅(おうめ)』と言う地名になったと言われている。



◆旧稻葉家住宅(都指定有形民俗文化財)

稻葉家は屋号を『稻葉店』と言い、青梅宿の町年寄を務めた家柄です。材木問屋や青梅縞(おうめじま)の仲買い商をしていました。大きな長持ち、蔵など豪商の暮らしぶりがうかがえます。2階建て江戸時代後期の建築と考えられます。土蔵部分は明治19年(1886)頃と思われます。また左隣にある『オカザキ酒店』は中武馬車軽便鉄道の森下駅(青梅)でした。『此處に駅ありき』の碑があります。明治34年(1901)から大正9年(1920)まで馬が牽引して19年間営業していました。



◆七兵衛地蔵尊

昼は実直に働き、夜はその足の速さで甲州上州へと出かけて行っていた義賊で、裏宿町に住んでいました。その足の早さは、胸に当てた傘を落とさず走れるほどの俊足と言われています。毎年2月に開催される『青梅マラソン』前になると、そのご利益にあやかりたいと参拝に来る人が多くなるそうです。

青梅市と杉並区は平成23年に『災害時相互援助協定』を結びました。区役所では青梅市の物産展『特産品販売』が年に数回あります。次回は11月17日(月)です。



ワンポイントガイド



ワンポイントガイド

